4． 安全・品質に係わる活動

■新安全教育研修センターの活用

新安全教育研修センター

2021 年 1 月、旧西尾営業所跡地に新安全教育研修センターを設立しました。
実際の道路環境を再現したトラック訓練場を新設するとともに、フォークリフトの基本操作から過去のトラブル対策のルール、禁止事項の徹底および多様化する業務に対応できる教育訓練を実技・座学ともに導入しています。
協力会社を含めたオールカリツーでの安全品質向上を可能とする常に進化する教育研修センターを目指します。

座学

座学・実技訓練の強化

（１）座学
①大型スクリーンを使用した教育
②新人教育で基本ルールを教育
③水平・隣接確認の重要性を重点に教育

棚入れ訓練

（２）荷主製品・環境特性に特化した訓練
①鉄パレット（油漏れ）の訓練
②長爪の訓練
③棚入れ訓練

製品転倒体感訓練

ウォーキー訓練

交差点死角訓練

オーバーハング訓練

ホイールナットの弛み確認訓練

（３）フォークリフト基本・応用訓練

①事故対策のトラップ訓練

②隣接確認姿勢の教育（上下左右）

③隣接（奥）確認の教育

（見えない箇所の把握方法）

④ローラー投入、取出し訓練

⑤ウォーキー訓練

⑥ハンドリフト訓練

⑦製品転倒体感訓練（奥隣接）

⑧スロープ訓練

⑨バック搬送訓練

⑩シャッター通過訓練

（４）トラック実技訓練

①交差点進入方法、危険箇所の把握、

徐行、最徐行、一旦停止の教育

②死角の把握、死角を減らすための姿勢、行動教育

③障害壁を設置した交差点死角訓練

④接触ポールを設置したバック訓練、縦列駐車訓練

安全な後退方法と後方感覚を養う

⑤オーバーハング・リヤオーバーハング振出・死角訓練

トラックを使用し内輪差・死角等を認識する訓練

（５）トラック点検訓練

①ホイールナットの弛み確認訓練

②リアデフの油漏れ確認訓練

①目標達成に向けた取組み

■安全に関する計画

具体的な計画を立て実行し、継続的に取組んでいます。

安全に関する計画	
運行記録計（解析指導）	毎月
安全推進会議（各部署）	毎月
グループ会議	毎月
職長会	毎月
事故研修会	発生翌月
無事故無違反強調月間	年４回
無事故表彰	年４回
トラック運転技能大会	年１回
フォークリフト運転技能大会	年１回
全国交通安全運動参加	年４回

教育計画	
新入乗務員研修	都度
安全講習会	都度
事故発生者研修	都度
管理監督者研修	年１回

■無事故無違反強調月間

交通・製品事故ゼロを達成するため、年 4 回無事故無違反強調月間を設けて、全社を挙げた安全意識付けに取組んでいます。
月間では、車両への車幕の取付け、事業所の出入り口への立て看板とのぼり旗の設置を行い、社員は「安全宣言」バッジや腕章を着用して、現場パトロールを実施しました。
また、KIT によるパトロールの実施、不安全箇所・危険作業の撲滅、乗務員・技能員の心得理解度テストの実施、タイヤチェーンの点検と着脱の実施など、様々な事故防止活動が計画・実施されています。
新型コロナウイルスの感染防止に配慮して、進発式では WEB 会議を活用しました。

進発式

点呼

現場パトロール

■短期・長期無事故表彰

無事故表彰

毎年、無事故を達成したグループ・社員に対して、短期・長期の無事故表彰を行っています。
短期無事故表彰は、3 ヶ月間無事故・無災害を達成したグループに対し、長期無事故表彰は 3 年、10 年、20 年、30 年、38 年の間継続して無事故だった社員を表彰しています。
これにより、事故抑止目標の達成と社員の相互協力による安全意識の高揚を図っています。

■カリツー協力会管理者研修会への参加

2022 年 11 月 16 日、本社厚生棟にてカリツー協力会管理者研修会に参加しました。
外部よりお招きした講師の方が「心理学的視点から事故対策を考える」について講演され、改めて事故防止への意識を高める機会となりました。

■カリツーセーフティ・ラリーの開催

物流企業の社員として、社会の模範となる安全運転を実践することを目的に、2022 年 7 月から 12 月までの間にかけて、愛知県トラック協会主催の「トラック・セーフティ・ラリー（※1）」と連動させた「カリツーセーフティ・ラリー」を開催しました。
全社員が 5 名 1 組でチームを結成し、実施期間中の無事故・無違反の達成に向け取組みました。
今後も一人ひとりの取組みに関する意識を高め、全チームの達成に努めます。

項目	2022 年度
全チーム数	733 チーム
達成チーム数	664 チーム
達成率	90.59%

■正しい運転・明るい輸送運動への参加

交通・労働災害事故の防止、年末年始の輸送繁忙期における安全・安心な輸送サービス提供などを目的として、2022年11月から2023年1月にかけて、全日本トラック協会と各県のトラック協会共催の「正しい運転・明るい輸送運動」に参加しました。
各事業所において、「荷役作業時の安全確保の徹底」、「追突事故及び交差点における事故防止の徹底」、「輸送品質・サービスの向上」など、重点実施事項を定めて運動に取組みました。

※1　一定期間内の無事故・無違反を競い合うことによって、ドライバー、社員の交通安全意識を高め、チーム、事業所、支部内での事故、違反数の減少を図るとともに、愛知県内の交通事故死者数減少を目指す

■アルコール検知器によるアルコール検知の実施

物流企業の社員として、勤務の内外を問わず飲酒による事故や検挙者を絶対に発生させないように、乗務員のみならず全社員が出退勤時にアルコール検知を実施しています。
本社を含む全事業所にアルコール検知器を配備し、遠隔地で乗務を開始・終了する場合には、携帯型のアルコール検知器を使用して、確実に実施しているか記録しています。

アルコール検知器

記録管理画面

遠隔地用アルコール検知器

■サイドバンパーの導入

事故防止のため、トラック全車両助手席側の１軸と２軸の間に、サイドバンパーを導入しました。
車体横に取付けることにより、歩行者や自転車の進入を防止します。
当社と整備会社が共同で開発した特別仕様で、全ての対象車に取り付け済みです。
サイドバンパーによる進入予防措置とともに、道路交通法の順守を徹底するよう、教育を行っています。

サイドバンパー

■電子点呼システムの活用

大型ディスプレイにて出勤・点呼状況確認

当社では、日々の点呼において、自社で構築した電子点呼システムを活用しています。
事故やトラブルの展開や再発防止に向けた注意事項を、パソコンを使用した点呼時に各乗務員に確認させるなど、運行における法順守の徹底と乗務員の注意意識向上に向けて取組んでいます。

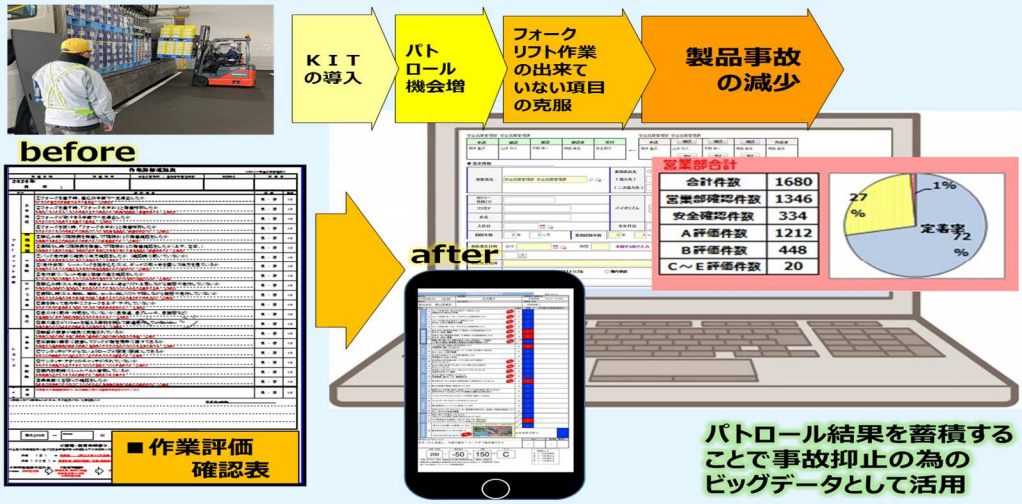
■フォークリフト用ドラレコの導入

ドラレコ映像による操作確認

製品事故防止のため、教育用のフォークリフトにドラレコを導入しました。
研修後に全員で映像を振り返り、危険な操作箇所を確認できるようになりました。
正しい操作を習得することで、事故防止に繋がります。

■IT を駆使したパトロールへの取組み

2021 年 2 月より、KIT（カリツーIT パトロールシステム）を導入しました。IT 端末を活用した現場巡視を行い、指差呼称などの実施状況について評価結果を社内で共有し、事故抑止に繋げています。



■ながらスマホ防止アプリの導入

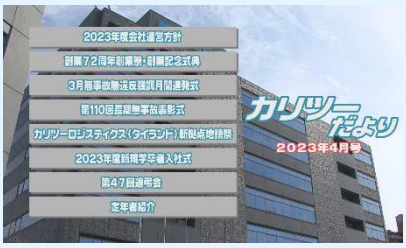
2022 年 4 月より、ながらスマホ防止アプリを試験的に導入しています。
従来より、乗務中のながらスマホを防止するため、運転中は携帯電話を指定の袋に入れていました。
さらに安全を強化するため、カリツーオリジナルアプリを開発・導入し、既存ルールに違反した場合、警告及び検知できる仕組みを構築しました。

項目	内容
スマホ周辺状態	事前に袋の中にビーコンを入れる 既存のルール通り、運転中スマホを袋へ入れる
異常検知方法	運転中状態をスマホが認識、ビーコンから離れ電波を受信しない場合、使用している状態と判断して検知
警告通知方法	異常を検知後、登録したアドレスへメール報告

イメージ図

■教育 DVD の展開

カリツーだより



社員への教育材料として、DVD「SD 情報（セーフティ・ドライブ安全運転）」と「カリツーだより」を自社内スタジオで編集、展開しています。2022 年度は「フォークリフト操作 KYT」、「コメンタリー運転の実践」等について展開しました。

リフト作業時やトラック運転時の危険感受性を高めるため、ビデオを活用して訓練することができました。

カリツーだよりでは、会社行事やトピックスを音声読み上げソフトのナレーションを使用して、タイムリーにビデオ化し配信しています。

■競技会への出場

当社では、専門知識の習得、運転技能及び点検技術の研鑽、交通安全に関する意識の向上を図ることを目的として、競技会へ積極的に参加しています。

開催日	競技会名	参加人数	入賞者（★愛知県代表として全国大会に出場）
6/10	カリツー・カリツー協力会共催 ドラコン・フォークリフト合同大会	95 名	–
6/18	第 21 回愛知県トラック協会 西三支部刈谷部会 フォークリフト運転競技会	2 名	優勝：東刈谷営業所　岡田選手
6/25	第 43 回愛知県フォークリフト 運転競技大会	3 名	2 位：東刈谷営業所　福岡選手
			5 位：東刈谷営業所　岡田選手
9/3･4	第 54 回愛知県トラック協会 トラックドライバーコンテスト	6 名	中型部門優勝：刈谷北営業所　坪中選手★
			大型部門 2 位：岡崎営業所　　遠藤選手
			トレーラー部門優勝：安全品質管理部　松井選手
10/22･23	第 54 回全国トラック協会 トラックドライバーコンテスト	1 名	中型部門 2 位： 国土交通大臣表彰　刈谷北営業所　坪中選手
12/10	第 11 回省エネ走行競技会	2 名	中型・準中型 合同部門 2 位：　岡崎営業所　　坂井選手

ドラコン・フォークリフト合同大会

フォークリフト運転競技大会

全国トラックドライバーコンテスト

■職場環境の整備

社員が安全に働ける職場環境の整備へ向け、各事業所に安全衛生委員会を設置し、定期的に職場を巡視しています。
委員会では、各職場での安全衛生に対する意見を取り上げ、労働災害防止対策の改善を行っています。
また、災害発生時には、臨時委員会を開催し、対策改善提案・対策のフォローを行っています。

疲労軽減マット

□安全衛生推進委員の装着品統一
くからでもひと目で推進委員を識別できるように、安全ベスト・バッチ・帽子の色をオレンジ系に統一しています。
推進委員の自己意識向上と、全社員への啓発活動の効果が高まりました。

フォークリフトの足元照明

□疲労軽減マットの導入
作業時の立ち仕事の疲労軽減のために、疲労軽減マット導入しています。足腰の負担が減り、腰痛予防に役立っています。

□フォークリフトの足元照明
労災事故防止のため、フォークリフトの足元を照らす LED 照明を取り付けました。
降車時の足元を明るく照らし、転倒防止に役立っています。

安全掲示板

□安全掲示板の設置
各拠点に安全掲示板を設置しています。
無災害継続日数を「見える化」することで、社員への事故防止に対する意識付けを行っています。

安全の門

□安全の門
一部の事業所や倉庫の出入口に、安全の門を設置しました。
安全の門をくぐることで、意識の切換えを行ない、安全第一で作業に取組んでいます。

□労働災害の分析・水平展開
労働災害防止のため、発生した労働災害については、要因分析と発生原因の特定を行い、再発防止対策、是正処置を実施しています。
また、一連の労働災害情報をデータベースとして蓄積するとともに、水平展開をするなど社内で共有しています。

□ホワイト物流推進運動への参加

国土交通省・経済産業省・農林水産省が進めるホワイト物流推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を提出しています。

この運動は、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化と、女性や 60 代以上の運転者等も働きやすいより「ホワイト」な労働環境の実現を目指した運動です。

社会的な共通課題の解決に向けて、関係取引先やパートナーとともに、物流の生産性と効率化を追及し、多様な人材が活躍できるよりホワイトな労働環境の実現を目指しています。

ホワイト物流推進運動

一つ星認証マーク

□働きやすい職場認証制度への参加

国土交通省・厚生労働省が進める働きやすい職場認証制度の一つ星認証を取得し、二つ星の取得に向けて取組んでいます。

この制度は、自動車運送事業者の運転者の労働条件や労働環境を第三者機関が評価・認証する制度です。

職場環境改善に向けた各事業者の取組みを「見える化」することで、求職者のイメージ刷新を図り、求職者の運転者への就職を促進する職場環境を整備し、社員にとって働きやすい職場を作ります。

□多様な人材が働きやすい職場づくり

安全・品質向上の取組みの一環として、働きやすい職場づくりに取組んでいます。

2023 年 3 月より、一部のトラックへ荷台への昇降時の転落防止のため、手すりと足掛けを開発し取付けました。昇降時の安全対策と、足腰への負担軽減になりました。

また、西尾東物流センターでは AGV（無人搬送車）とハンディハンドを導入しており、運搬作業時の負担を減らすことができました。

今後も多様な人材が働きやすい職場を目指していきます。

トラック荷台の手すり

トラック荷台の足掛け

西尾東物流センター　AGV

②目標と結果

■運輸安全目標と結果

項目	2022 年度目標	2022 年度結果	2023 年度目標
重大事故（※1）	0 件	1 件	0 件
輸送の安全に関する投資額	227 百万円	421 百万円	221 百万円

■交通事故抑止目標と結果

項目	2022 年度目標	2022 年度結果	2023 年度目標
自責交通事故（※2）	2 件以下	9 件	2 件以下

■製品事故等抑止目標と結果

項目	2022 年度目標	2022 年度結果	2023 年度目標
製品事故	45 件以下	51 件	43 件以下

■労働災害抑止目標と結果

項目	2022 年度目標	2022 年度結果	2023 年度目標
重大労働災害（※3）	0 件	0 件	0 件
重大労働災害以外（※4）	1 件以下	6 件	0 件以下

※1　国土交通省自動車事故報告規則に定める事故 ①転覆・転落・火災・踏切・死傷 ②危険物の飛散漏洩 ③健康障がい ④車両故障等
※2　過失割合 30%超の交通事故
※3　死亡災害・後遺障害・休業 6 ケ月以上
※4　休業 4 日以上 6 ヵ月未満